

松江市 報道機関配布資料

令和8年6月1日

件名

令和8年度トークシリーズ「小泉八雲ふたたび 2026」全6回 第1回「勝五郎の転生」～前世を知る不思議な少年の物語～

内容

昨年度の「ヘルンとセツ熱烈応援企画(全4回)」好評につき、令和8年度は回数を増やし、トークシリーズ「小泉八雲ふたたび 2026(全6回)」を開催します。松江の至宝・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の面影を、現代日本の知性が新たな視点で語り継ぐトークイベントです。取材のご協力をお願いいたします。

【(第1回)イベントについて】

- 日時: 6月20日(土) 開演 14時30分
- 場所: 松江市市民活動センター5階 交流ホール(松江市白瀧本町43)
- 出演者: 北村澄江氏(日野市郷土資料館元職員)／勝五郎生まれ変わり物語探求調査団
小泉凡氏(小泉八雲記念館館長)
- 主催: 松江市
- 後援: 小泉八雲記念館
- 内容: 「勝五郎の転生」～前世を知る不思議な少年の物語～
小泉八雲は、江戸時代後期に少年・勝五郎(かつごろう)が語った世にも不思議なく生まれ変わりの記憶を、「勝五郎の転生」(『仏の島の落穂』所収)として、1897年にアメリカとイギリスで発表しました。勝五郎(前世: 藤蔵(とうぞう))の地元日野市には、この再生譚を大事な地域資源として、調査・研究、普及活動をしている団体があります。その20年の成果をお話します。
特別ゲスト・小泉凡氏との対談も予定しています。
- 入場: 無料(要予約)
- 予約: 「しまね電子申請サービス」にて ※松江市HPにリンク先掲載 ※各回1ヶ月前より受付

【当日取材について】

事前に松江市文化振興課(赤木、羽田)までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ】

文化スポーツ部 文化振興課 担当: 赤木、羽田

電話: 0852-55-5517

トークシリーズ 全6回

小泉八雲



ふたたび 2026

講演
入場無料
要予約

松江の至宝・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の面影を、
現代日本の知性が新たな視点で語り継ぎます!

Guest ゲスト



第3回

小泉八雲、
西洋と日本の狭間で
9月6日〔日〕 ■開演・14:30
■会場・島根県立美術館ホール
Gregory Kheznejat
グレゴリー・ケズナジャット



第2回

小泉八雲はこれを読み
7月11日〔土〕 ■開演・14:30
■会場・島根県立美術館ホール
Masao Higashi
東雅夫



第1回

「勝五郎の転生」
前世を知る不思議な少年の物語
6月20日〔土〕 ■開演・14:30
■会場・松江市市民活動センター 交流ホール
Sumie Kitamura
北村澄江×小泉凡
小泉八雲記念館館長



Web申し込み

※ご予約は開催日の1か月前から承ります

主催：松江市 TEL.(0852)55-5517(文化振興課) 後援：小泉八雲記念館
企画：羽田昭彦(小泉八雲・セツの普及コーディネーター)

※裏面もご覧ください

トークシリーズ 全6回

小泉八雲ふたたび2026

勝五郎生まれ変わり物語探求調査団事務局担当

北村 澄江×小泉 凡

第1回

「勝五郎の転生」～前世を知る不思議な少年の物語～

6/20 | 土 | ■開演・14:30

■会場・松江市市民活動センター 交流ホール

プロフィール

大阪府出身。1985年から2025年まで、東京都日野市の市史編さん事業や郷土資料館の歴史担当嘱託として勤務。2006年に日野市郷土資料館を拠点として結成された市民参加の学習団体「勝五郎生まれ変わり物語探求調査団」の創立に携わる。現在は調査団のメンバーとして事務局を担当している。

内容

小泉八雲は、江戸時代後期に少年・勝五郎が語った世にも不思議な生まれ変わりの記憶を、「勝五郎の転生」（『仏の島の落穂』所収）として、アメリカとイギリスで発表しました。勝五郎（前世藤蔵）の地元日野市には、この再生譚を大事な地域資源として、調査・研究・普及活動をしている団体があります。その20年の成果をお話します。

アンソロジスト/文芸評論家

東 雅夫

第2回

小泉八雲はこれを読め

7/11 | 土 | ■開演・14:30

■会場・島根県立美術館ホール

プロフィール

1958年、神奈川県横須賀市生まれ。早稲田大学日本文学科卒業。『幻想文学』と『幽』の編集長を歴任。著書『遠野物語と怪談の時代』（角川選書）で、第64回日本推理作家協会賞（評論その他の部門）を受賞。編纂書に『文豪怪談傑作選』『てのひら怪談』『稲生モノケ大全』『平成怪奇小説傑作集』など多数。

内容

「雪女」「耳なし芳一」だけじゃない！八雲の作品領域は紀行文、小説、スケッチ、論考など多岐にわたっています。では、いま何を読むべきか？ 怪奇幻想文学の世界において希代の編集者であり、近年は評論・研究・編纂の分野でも200冊近い著書のある小生が、指南いたします。

小説家/法政大学グローバル教養学部准教授

グレゴリー・ケズナジャット

第3回

小泉八雲、西洋と日本の狭間で

9/6 | 日 | ■開演・14:30

■会場・島根県立美術館ホール

プロフィール

1984年、アメリカ合衆国生まれ。高校時代に日本語と出会い、大学卒業後、来日。2021年に『鴨川ランナー』で第2回京都文学賞を受賞しデビュー。続く『開墾地』が第168回（2022年下半年）、「トラジェクトリー」が第173回（2025年上半年）芥川賞候補作に。日本語を母語とせずに日本語で創作を続けている作家の一人。

内容

日本の説話の世界に入り込んだハーン。ヨーロッパを離れて、アメリカの南部やカリブ海の諸島を経て、39歳に来日した彼は何を探し求めていたのか。英語を母語としながら日本語で創作する小説家の視点から捉えた、新しい小泉八雲像！

トークシリーズ 小泉八雲ふたたび2026・4～6回



千葉大学名誉教授
Sukeyuki Miura

三浦 佑之

第4回

ラフカディオ・ハーン、
共振する『古事記』

10/4 | 日 | ■開演・14:30

■会場・松江市市民活動センター 交流ホール



立正大学文学部特任講師
Akiko Kawasumi

川澄 亜岐子

第5回

語る雪女、沈黙するお雪 10/31 | 土 |

ハーンと円朝、
それぞれの「牡丹灯籠」 11/1 | 日 |

■開演・両日14:30

■会場・松江歴史館 歴史の指南所



武蔵大学国際教養学部准教授
Lindsay Morrison

リンジー・モリソン

第6回

アメリカに
忘れしハーン

11/28 | 土 | ■開演・14:30

■会場・島根県立美術館ホール



Web申し込み

※ご予約は開催日の1か月前から承ります

主催：松江市 TEL. (0852) 55-5517 (文化振興課) 後援：小泉八雲記念館 企画：羽田 昭彦 (小泉八雲セツの普及コーディネーター)

吉原の小泉八雲の像と、吉原に使用した小泉八雲の名刺は小泉八雲記念館から、吉原の歴史的な建物は今福がアチチから提供されたもので、